

砂田が丘通信

To 大根 380

生徒総会の準備 ありがとう！




左の写真は生徒総会冊子の表紙です。この冊子は、

- ①入試への取り組みと並行して3年生が原稿作りに励み、完成したものです。
- ②一頁一頁には、本部と各委員会の一年間の活動と成果、来年度に向けての提言が載っています。

本部、委員会の皆さん、1年間ありがとうございました。そして会員の皆さん、みんなが力を合わせて進んできたので、大根中学校の一年間がつくられてきました。自分達の実績を糧に、次のステージも進んでいって下さい。

通常の学校活動が進んでいけば、今日3月3日に生徒総会が開催される予定でした。これから3回に分けて、資料に載っている「成果と改善点」を紹介します。

	活動における成果	来年度に向けて
生徒会本部	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアへの参加呼びかけを強化できた。・全校生徒へ情報を発信することができた。・スローガン（生徒会・いじめ）決定に向けて、全校に発信することができた。	<ul style="list-style-type: none">・全ての活動において、計画的に準備できるようにする。・みんなの箱の存在を広め、返事の仕方を工夫する。
桜中祭実行委員会	<ul style="list-style-type: none">・今年度初めて、1，2年生の桜中祭運動の部担当を決めることで各クラスに情報を伝えやすくなりました。・ガイダンスも行い、各ブロックの応援がスムーズになりました。	<ul style="list-style-type: none">・運動の部と合唱の部の日程的に、時間がなく、桜葉祭などの準備があまりできなかったです。・来年度は、桜中祭実行委員会が、積極的に声をかけ準備を進める。
選挙管理委員会	<ul style="list-style-type: none">・公平な選挙活動ができた。・開票作業がスムーズにできた。 	<ul style="list-style-type: none">・遅刻をなくす。・より公平で公正な選挙活動になるよう心がける。・生徒が立候補しやすい環境を作る。
放送委員会	<ul style="list-style-type: none">・放送することにより学校全体がにぎやかになった。・伝達事項を伝え学校に貢献した。	<ul style="list-style-type: none">・企画立案から実施までを早くする。・各委員の意見をもっと取り入れる。・全校生徒に楽しんでもらえるような放送にする。

藤吉研究室大学生 ～ 卒業するお二人に伺いました ～

藤吉研究室……毎回のふれあい講座でお世話になっている研究室です



石井寛紀さん

今の3年生が1年生の時に、来校してESD 塾つながりの防災授業をした時のスタッフの一人であり、ESD 塾内でミニ防災プログラムも担当していました。なんとという偶然！（中学生を惹きつけるために、輝くランプを用いるなどいろいろ工夫をしたそうです。）

高3の時、自然に関するボランティア活動に参加。東海大の人間環境学科に興味を持ったそうです。人と話しをするのが好き、大学のうちにいろいろな新しい経験を積んでおきたいという想いをもち、大学2年では防災（授業や熊本復興支援プロジェクト）に関わったとのこと。「防災は誰もが意識すべきものだけれど準備ができていないものだと思っています。」と、ペットボトルの水を例に話してくれました。

中学生へは「『真面目と継続』『真面目か継続』。質と時間は両方大事にしてほしいし、短い時間でも質が高ければいいし、逆に細々とでも長い時間続けることは大切だと思います。」

「自分は、人との出会いが必ず何かを起こしてきた。これからいろいろな起点が来るけれど、それは『出会い』なので大切にしてほしいです。」というメッセージをいただきました。

卒業後は、お菓子作りに関わり、藤吉研で研究に取り組んだ「クルミ」の可能性を広げたいと夢を語ってくれました。



元吉玲那さん

幼少時からの、祖母の牧場での遊びや手伝い&山遊びでの原体験が、進路にも就職にも強く影響を及ぼしている方でした。

周りが知らない子ばかりの中学への入学で、これまでのレッテルや思い込みがなくなり“私は何でもやれる！”“見ているだけでなく周りを変えられる立場にもなれる”と気づき、中高と、部長や委員長、生徒会に関わっていったそうです。（高校の射撃部では部長を務め、全国大会出場も！）

中3の進路選択時に行きたい高校は特になかったが、近くにある東海大の付属高を進められ、射撃部と東海大の自然環境に関する学部が目にとまり進学。大1の時に植物に関わる『藤吉研究室』にロックオン。「必要なことはきちんとやるが、常に余力を持って、 $+ \alpha$ のことをやりたい。」「やらない後悔は残したくない。」と進んできたそうです。

中学生へのメッセージは「何事にもすぐに見切りをつけず、何が将来役に立つかわからないという広い視野を持って。多様な経験と記憶は思いがけないアイデアやきっかけをくれます。」「楽しまないと人生損。何をやるにも、経験は必ず糧になる。無駄な時間を過ごしたと思っほしくない。」

卒業後は“農場運営や植物管理に携わり研究している企業に勤めるのが楽しみ”と、想いを語ってくれました。

お二人へのインタビューを通して、とてもしっかりとした考えをもち、それを明確に表現できるすごさ、素晴らしさに感心しました。自分が大学生の時に「中学生へのメッセージ」を尋ねられたら、おそらく何も答えられなかったでしょう。若い人達からの学びはとても面白く、刺激をいただきました。これまで中学生に大切に接して来てくれたことに感謝です。ありがとうございました。

「砂田が丘通信」は、今後も随時HPにアップしていきます。

HPでは臨時休校中の情報提供も行いますので、時々チェックをお願いします。